

Trunc-head[®]を用いた プレキャスト PC 床版の合理化継手工法

SUMITOMO MITSUI
CONSTRUCTION CO.,LTD.

Trunc-head を用いたプレキャスト PC 床版の合理化継手工法

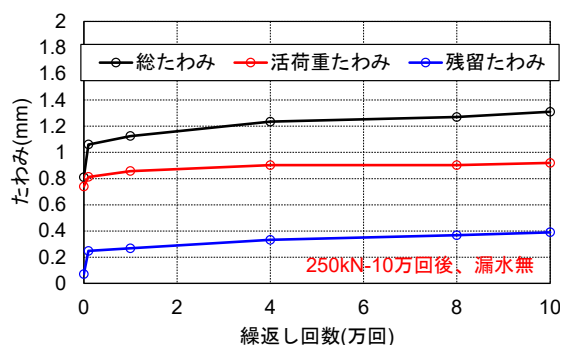
鋼桁橋の劣化したコンクリート床版の取替工事で、工程短縮や耐久性向上のためプレキャスト PC 床版を用いる場合に適用する工法です。プレキャスト PC 床版の橋軸方向の接合部に、先端に円錐台形状の突起を設けた鉄筋「Trunc-head」を用いて定着させる接合構造により施工の合理化を図ります。

特徴

- プレキャスト PC 床版の継手構造として、従来の鉄筋ループ継手などの構造と同等以上の性能を有しています。
- 床版継手部に配置する直角方向鉄筋は、床版から突出している Trunc-head に仮置きできることで、床版設置後の挿入が必要なく、効率よく安全に施工することが可能です。

性能確認試験

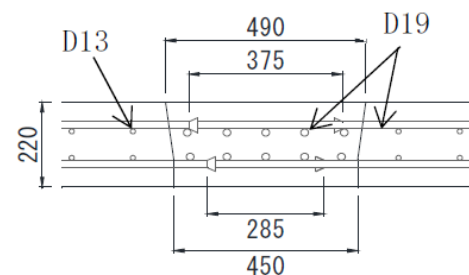
高速道路会社の試験法 (NEXCO 試験法 442) に則り、輪荷重走行試験を実施しました。輪荷重 250kN で 10 万回載荷し、その後水張試験を実施し、耐用年数 100 年相当の性能を有していることを確認しました。(NEXCO から性能証明書受領)



継手部のたわみと載荷回数



床版継手部の配筋状況



輪荷重走行試験状況



250kN, 10 万回載荷後の水張試験状況 (漏水なし)